平成29年第 4回
総 会
4月

白井市農業委員会会議録

平成29年4月21日 開会

平成29年4月21日 閉会

白 井 市 農 業 委 員 会 会 議 録

平成29年4月21日午後4時00分に白井市農業委員会を白井市役所に招集した。

出席委員は次のとおり

欠席委員は次のとおり

会 長	武 藤 栄 子
会長代理	川 上 洋
1 番	根 本 孝 一
2 番	福 田 孝 一
3 番	内 藤 秀 樹
4 番	宇 賀 義 則
5 番	鈴 木 二三男
6 番	押 田 勝 巳
8 番	鈴 木 正 夫
9 番	山 口 幸 一
10番	林 榮 造
11番	芦 田 恵 子
13番	笠 井 行 雄

7 番 中 村 教 雄

本日の議案は下記のとおり

議案第1号 農地法第3条の規定による許可申請について

議案第2号 平成29年度第1次農用地利用集積計画の決定について

議案第3号 下限面積（別段面積）の設定について

報告・協議事項等

(1) 届出等事務局長専決決裁報告について

(2) その他

5月の事前審査会、総会の日程について

- ・申請受付締め切り 4月24日（月）
- ・事前審査会（案） 5月1日（月）
第2班 午前9時から 4階第1会議室
- ・総 会（案） 5月8日（月）
午後4時00分から
新庁舎3階 第5会議室

午後4時00分委員定数14名中13名出席したので議長が開会を宣言した。

武藤会長 それでは、こんにちは。

新しい職員の方たちと一緒にこれから会議させていただきます。

定刻より少し早いですけれども始めさせていただきます。

桜の花も散りまして、またことしも忙しい時期となりました。

仕事のお忙しい中、出席いただきましてありがとうございます。

農水省では、農地の流動化を防ぐために転用認可を厳しくし、転用して利益を得た分、税金として徴収し、地域の農業振興に還元するというようなことを13日の日本農業新聞に載っておりました。

また、農作物にも、東京オリンピックに使う持続可能な食材ということで、国際認証が必要になるのではないかということも書かれておりました。

また、これから国の動向を見ていきたいと思えます。

それでは、会議始めさせていただきます。

座らせていただきます。

本日の出席委員は13名により、白井市農業委員会会議規則第6条の規定により、出席

委員が過半数に達したため、これより平成29年4月定例総会を開会いたします。
本日の議事録署名者は、6番押田勝巳委員、8番鈴木正夫委員お願いいたします。
これより議事に入ります。

議案第1号 農地法第3条の規定による許可申請についてを議題といたします。

1番から3番まで、事務局、説明お願いいたします。

事務局 それでは、議案第1号 農地法第3条の規定による許可申請について。
下記のとおり、農地法施行令第1条第1項の規定による許可申請がありましたので提出いたします。平成29年4月21日提出。

白井市農業委員会長、武藤栄子。

まず1番、神々廻字東発込920番、外2筆。

畑。合計面積が1,407平方メートル。

権利者、白井市神々廻 番地、〇〇〇〇さん。

経営面積、62アール。

義務者、白井市神々廻 番地、〇〇〇〇さん。

事由が賃貸借権の設定です。

2番、神々廻西発込1331番5、外3筆。

畑。合計面積が3,176平方メートル。

権利者、白井市神々廻 番地、〇〇〇〇さん。

経営面積、62アール。

義務者、白井市神々廻 番地、〇〇〇〇さん。

事由、賃貸借権の設定。

3番、神々廻西発込1364番。

畑。地積が1,590平方メートル。

権利者、白井市神々廻 番地、〇〇〇〇さん。

経営面積、62アール。

義務者、白井市神々廻 番地、〇〇〇〇さん、持ち分2分の1、〇〇〇〇さん、持ち分2分の1。

事由、賃貸借権の設定。

1番2番3番につきましては、〇〇〇〇さんが新規就農を始めるためです。

以上です。

武藤会長 ありがとうございます。

次に、先般行われました事前審査会の班長より、審査内容の報告をお願いいたします。

1番から3番まで説明をお願いいたします。

福田孝一委員、お願いいたします。

福田孝一委員 では、議案第1号の農地法第3条の規定による許可申請の調査報告を行います。

1番から3番まで一括して報告します。

当日は、義務者〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さんの代理人として、権利者、〇〇〇〇さんが出席しました。

申請地は、市役所から東へ約2キロメートルと2.2キロメートルのところに位置しています。

始めに、今回の申請ですが、権利者は新規就農を始めるため、義務者は農地縮小のためのものであります。

次に、申請地の現状ですが、現地の状況は、全ての畑がきれいに整地されており、すぐにでも作付できる状態にあります。

最後に、農地法第3条の許可基準に対して適合するかどうかを報告します。

進入路に関しては、1442番と920番は道に面しており、938番と1364番は隣の畑の地主さんより許可をもらって通らせていただくということで、許可をもらっているので問題ないと思います。

また、〇〇さんの実家は農業を営んでおり、農機具はそろっております。

また、将来は実家の農地も耕作する予定で、やる気も十分にあります。

義務者の方も納得した上での申請です。

以上のことから、何ら問題なく許可相当と判断いたします。

以上です。

武藤会長 ありがとうございます。

ただいま事前審査会の班長より審査内容の報告がございましたが、地区担当委員の方で補足説明がございましたら、説明をお願いいたします。

1番から3番まで関連性がありますので、林榮造委員、説明をお願いいたします。

林 榮造委員 説明いたします。

権利者の〇〇〇さんについてですが、以前は会社に勤めていたのですが、現在は母親と一緒に農業をしております。

しかし、今の面積では収入が少ないので、規模拡大をしたいということで、そしてまた収入を増やしたいという考えから、今回、許可申請を提出した理由だそうです。

そうと言っても、現在、〇〇〇さんは1人で、奥さんいないのですよ。

1人で60アールの野菜を管理するのは大変ですと私も助言したのですが、本人は、繁忙期にはパートタイマーを雇うと言っておりました。

本人は大変真面目で、真面目ならよいというものではございませんけれども、何よりもやる気満々ですので、許可相当かと思われまます。

以上、権利者の報告いたしました。

次に、義務者ですが、〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さん、3人いますが、3人とも賃貸借の理由が共通していますので、一括で説明いたします。

3人とも高齢になり、農作業が体力的に大変になってきたのと後継者がいないということで、農業を縮小したいと思っていたところ、権利者である〇〇さんから野菜を栽培して規模拡大したいので、貸してもらえればという話があったそうです。管理してくれるならということで、快く貸したそうです。現在は、すぐにでも野菜を栽培できる状態です。以上です。

武藤会長 ありがとうございます。

事前審査会の報告及び地区担当員の補足説明が終わりましたので、続いて質疑に入ります。

質疑のある方は挙手をお願いいたします。

何かありますでしょうか。ないでしょうか。

鈴木委員 一つよろしいでしょうか。

武藤会長 はい、鈴木委員。

鈴木委員 事務局にお尋ねしたいのですが、今のお話の〇〇さんは、新規就農という話ですが、新規就農の作付面積は、この借りた分だけですか。

事務局 借りた分だけですね。

事前審査会の中では、親元とは別に62アール借りて、その筆をやるという話でした。行く行くは親の筆を承継するという話で、事前審査会ではお話を伺っています。

鈴木委員 わかりました。

武藤会長 ほかにございませんでしょうか。

ないようですので質疑を打ち切りまして、これより議案第1号 農地法第3条の規定による許可申請について採決を行います。

1番から3番まで関連がありますので、一括で採決を行います。

許可することに賛成の方は挙手をお願いいたします。

[賛成者挙手]

武藤会長 全員賛成です。

議案第1号 農地法第3条の規定による1番から3番まで許可申請について、許可することに可決いたします。

次に、議案第2号 平成29年度第1次農用地利用集積計画の決定について議題といたします。

事務局より説明をお願いいたします。

事務局 議案第2号 平成29年度第1次農用地利用集積計画の決定について。

白井市長より、農業経営基盤強化促進法第18条の規定による別紙のとおり平成29年度第1次農用地利用集積計画（案）の協議がありましたので提出いたします。平成29年4月21日提出。

白井市農業委員長、武藤栄子。

次のページは協議文になります。

次めくっていただいて、続きまして、平成29年度第1次農用地利用集積計画一覧表(案)を読み上げます。

1番、河原子字堂下58番1、外6筆。

田。利用権の設定面積は2,905平方メートル。

種類、賃貸借権。

内容、水稻。

期間、10年。

賃料、計で2万円。

支払い方法、直接持参。

利用権を設定する者、白井市河原子 番地、〇〇〇〇さん。

利用権の設定を受ける者、白井市富塚 番地、〇〇〇〇さん。

経営面積495アール。

備考で、継続です。

2番、谷田字耕地310番、外1筆。

田。利用権の設定面積は2,022平方メートル。

種類、賃貸借権。

内容、水稻。

期間、5年。

賃料、計で2万6,000円。

支払い方法、直接持参。

利用権を設定する者、船橋市大神保町 番地、〇〇〇〇さん。

利用権の設定を受ける者、白井市谷田 番地、〇〇〇〇さん。

経営面積278アール。

継続です。

3番、谷田字八幡下427番1、外2筆。

田。利用権の設定面積は695平方メートル。

種類、賃貸借権。

内容、水稻。

期間、5年。

賃料、計で9,100円。

支払い方法、直接持参。

利用権を設定する者、船橋市大神保町 番地、〇〇〇〇さん。

利用権の設定を受ける者、白井市谷田 番地、〇〇〇〇さん。
経営面積278アール。

継続です。

4番、神々廻字長堀1810番17。

地目は畑。利用権の設定面積は1,983平方メートル。

種類、使用貸借権。

内容、畑作。

期間、3年。

利用権を設定する者、鎌ヶ谷市初富 番、〇〇〇〇さん。

利用権の設定を受ける者、白井市大山口 、〇〇〇〇さん。

経営面積93アール。

継続です。

5番、木字向235番1。

畑。利用権の設定面積は1,000平方メートル。

種類、賃貸借権。

内容、畑作。

期間、1年。

賃料、5,000円。

支払い方法、直接持参。

利用権を設定する者、白井市木 番地、〇〇〇〇さん。

利用権の設定を受ける者、白井市名内 番地、〇〇〇〇さん。

経営面積130アール。

継続です。

6番、谷田字神楽場798番、外4筆。

畑。それから下ですね、耕地341番、田んぼ、現況が畑です。

利用権の設定面積が5,140平方メートル。

種類、使用貸借権。

内容、畑作。

期間、6年。

利用権を設定する者、東京都小平市花小金井 、〇〇〇〇さん。

利用権の設定を受ける者、柏市布瀬 番地、株式会社〇〇〇〇。

経営面積454アール。

新規です。

7番、十余一字清戸道西43番14。

畑。利用権の設定面積は2,505平方メートル。

種類、使用貸借権。

内容、畑作。

期間、6年。

利用権を設定する者、白井市十余一 番地、〇〇〇〇さん。

利用権の設定を受ける者、柏市布瀬 番地、株式会社〇〇〇〇。

経営面積454アール。

新規です。

8番、清戸字大崎222番、外2筆。

田。利用権の設定面積は2,702平方メートル。

種類、賃貸借権。

内容、水稻。

期間、3年。

賃料、計5万9,400円。

支払い方法、口座。

利用権を設定する者、白井市清戸 番地、〇〇〇〇さん。

利用権の設定を受ける者、白井市清戸 番地、〇〇〇〇さん。

経営面積181アール。

新規です。

9番、清戸字角堀込381番1の一部、外1筆。

畑。利用権の設定面積は3,000平方メートル。

種類、賃貸借権。

内容、畑作。

期間、1年。

賃料、計3万円。

支払い方法、口座。

利用権を設定する者、白井市清戸 番地、〇〇〇〇さん。

利用権の設定を受ける者、白井市谷田 番地、〇〇〇〇さん。

経営面積168アール。

新規です。

10番、中字中谷292番4、外9筆。

畑、果樹と田。利用権の設定面積は2万562平方メートル。

種類、使用貸借権。

内容、梨畑と水稻。

期間、10年。

利用権を設定する者、白井市中 番地、〇〇〇〇さん。

利用権の設定を受ける者、白井市中 番地、〇〇〇〇さん。

経営面積247アール。

新規です。

以上です。

武藤会長 ありがとうございます。

農用地利用集積計画の決定については、事前審査会の対象外でございますので、班長の報告はございません。

1番から5番まで継続ですので、地区担当委員の説明もございません。

6番から10番は新規ですので、地区担当委員の説明がございます。

6番、8番、9番を内藤秀樹委員お願いいたします。

内藤秀樹委員 まず6番なのですけれども、利用権を設定する者を先ほど〇〇〇〇さんということでしたが、〇〇〇〇さんで女性の方ですね。

事務局 失礼しました。

内藤秀樹委員 それで、これは相続前提の話で、旦那がサラリーマンで、結局農地を荒らしてはまらずいということで、一応管理者が母親で、〇〇〇〇さんに貸すということで話がまとまったようです。

それと、8番、9番ですけれども。

まず、8番の〇〇〇〇さんは、昨年たしか旦那さんが亡くなってしまして、相続で受けまして、〇〇〇〇さん自身は、農家を現在やっていませんので、この件につきましては、この田んぼは、昨年亡くなられたご主人の父親の代、先代からもう既に貸してある土地で、今回相続するに当たって手続がされていなかったもので、今回新たに手続をしたということです。

それと次、これも〇〇〇〇さんの件ですけれども、〇〇〇〇さんの家の前の畑にこれはなるのですけれども、農業ができなくて、農地を荒らさないために業者を頼んで、代金を払って草刈りをしていたのを〇〇〇〇さんが見て、それならば私に貸してくれということで、ここを作付するので私に貸してくれということで頼んで、こういうことになったということになったということです。

以上です。

武藤会長 ありがとうございます。

7番、笠井行雄委員お願いいたします。

笠井行雄委員 これの権利者の〇〇さんというのは、今現在会社に勤めてしまして、農業はしておりません。

そのかわりに、同じ十余一の中で〇〇〇〇さんという方が今まで耕作していたのですが、〇〇〇〇さんが高齢で管理するのが大変だということで、返されていたそうなのです。

それで、〇〇さんは農家していませんので、誰かつくってもらえないかということで、この辺で、神々廻にも十余一にも今現在借りてつくっている〇〇〇〇さんがありますので、お願いしてつくってもらうようになったそうです。

それで〇〇さんは、大豆をつくるということでした。

以上です。

武藤会長 ありがとうございます。

次、10番、事務局説明をお願いします。

事務局 では、10番について説明させていただきます。

〇〇〇〇さんなのですが、こちらの方と権利の設定を受ける者、〇〇〇〇さんの関係性なのですが、〇〇〇〇さんの息子さんの奥さんが〇〇〇〇さんという形で、お嫁さんという形になります。

今回権利設定するに当たった経緯なのですが、〇〇〇〇さんが経営移譲年金の加算付き年金を受給されていました。

後継者さんが特定譲受人に該当するという形で受け取られていたのですが、息子さん亡くなられていまして、その後手続を踏まれていなかったという形で、今回それが発覚しましたので、適正な手続を踏むという形で合意解約、後ほど出てくるのですが、息子の〇〇〇〇さんと〇〇〇〇さん本人の合意解約をまずした形にしまして、今度、〇〇〇〇さんのほうなのですが、特定譲受人に該当するような方でしたので、また改めて利用権の設定の後、経営移譲年金、加算付き年金の部分を受給する形にするために、今回手続するに当たったという経緯になります。

以上です。

武藤会長 ありがとうございます。

事前審査会の報告及び地区担当委員の説明が終わりましたので、続いて質疑に入ります。

質疑のある方は挙手をお願いいたします。

何かご意見がある方は挙手をお願いいたします。

はい、押田委員。

押田委員 些細なことなのですが、8番、9番で、利用の設定を受ける人によって金が違うのだけれども、これは別に本人が納得しているからいいのかな。

なぜこうなのかな。

内藤委員 金額のことについては、聞き忘れたのですが、田んぼについては、さっきも申し上げたとおり、先代から貸しているのです、そのままの設定だと思います。

押田委員 逆だったら分かるのだけれども、田んぼがえらい高いので。かわいそうかなと思って。

内藤委員 双方納得済みなので、いいんじゃないですかね。

芦田委員 あとは、土地改良の水利権とかをそういうのを払っているのかなと思ったのですよね。金額的に、3,000円ないのにこの金額だと、逆に水利。土地改良費を負担しているのかなと。

武藤会長 事務局、その点は。

事務局 金額については、それぞれのなので口出しはできません。

芦田委員 地主さんが全部払うので、水利権にしても。

だから、恐らくこの〇〇〇〇さんがみんな金を払うのですよね。

だから、恐らく高くいただいて。そういうものはお金かかるからということじゃないかと思うのですが。

武藤会長 よろしいでしょうか。ほかにございませんでしょうか。

芦田委員。

芦田委員 最近、毎回なのですが、〇〇〇〇さんからかなりどんどん面積増やしているのですが、今まで借りていたところも適正に耕作しているのかどうなのか、その辺の状態、あと、経営的にはどうなのか。

現物見てないのでわからないので、わかる人がいたら教えてほしいのですけど。

林委員 神々廻で何カ所かつくっていますけれども、きれいに大分つくって、今もう平らになってあって、種まく状態になっていて、管理は十分されていますね。

芦田恵子委員 わかりました。

武藤会長 ほかに何かありますでしょうか。

ないようでしたら、先に進めさせていただきます。

では、質疑がないようでございますので、議案第2号 平成29年度第1次農用地利用集積計画の決定について採決を行います。

1番から10番まで一括して採決を行います。

承認することに賛成の方は挙手をお願いいたします。

[賛成者挙手]

武藤会長 全員賛成です。

議案第2号 平成29年度第1次農用地利用集積計画の決定について、1番から10番まで承認することに可決いたします。

次に、議案第3号 下限面積（別段面積）の設定についてを議題といたします。

事務局、説明をお願いいたします。

事務局 議案第3号 下限面積（別段面積）の設定について。

平成21年12月施行の改正農地法により、農業委員会が、農林水産省令で定める基準に従い、市町村の区域内の全部又は一部についてこれらの面積の範囲内で別段の面積を定め、農林水産省令で定めるところにより、これを公示したときは、その面積を下限の面積として設定できることになりました。

「農業委員会の適正な事務実施について」（20経営第5791号平成21年1月23日付け農林水産省経営局長通知）が、平成22年12月22日付けで一部改正され、農業委員会は、毎年、下限面積（別段の面積）設定又は修正の必要性について審議することとなっております。

このため、今年度の下限面積（別段面積）の設定について以下のとおり提案いたします。平成29年度4月21日提出。

白井市農業委員長、武藤栄子。

農地法施行規則第17条第1項の適用について。

地域、市内全域。

方針、現行の下限面積（別段の面積）50アールの変更は行わない。

理由、下限面積を設定するに当たっては、定めようとする面積未満の農地を耕作している者の数が、耕作者の4割を下らないよう農地法施行規則第17条第1項第3号で規定されている。

2015年農林業センサスの数値では、農地法施行規則第17条第1項第3号の基準を満たす経営基準が小さい地域が存在しないこと、また経営面積があまり小さいと生産性が低く農業経営が効率的かつ安定的に継続して行われなことが想定されるため、従来どおり50アールとすることにしました。

あと、補足説明がありまして、用紙はないです。

具体的に数字を挙げますと、2015年農林業センサスの農家数が474で、50アール未満の農家数が36あり、割り返しますと13.1%となり、40%は超えていませんので、従来どおりの50アールとするものとしたものです。

続きまして、あわせて提案したいのですが、農地法施行第2条第3項より下限面積に達していない場合、例外適用がありますので、草花等の栽培で面積が少なくとも、その経営が集約的な新規就農等については、その都度委員会に諮って判断していくという方法をとりたいと、あわせて審議いたします。

以上です。

武藤会長 ありがとうございます。

下限面積（別段面積）の設定については、事前審査会の対象外でございます。

班長の報告はございません。

地区担当委員の説明もございません。

続いて質疑に入ります。

質疑のある方は挙手をお願いいたします。何かありますでしょうか。

何かありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

武藤会長　　ないですか。質疑がないようでございますので、議案第3号 下限面積（別段面積）の設定について採決を行います。
決定することに賛成の方は挙手をお願いいたします。

〔賛成者挙手〕

武藤会長　　全員賛成です。
議案第3号 下限面積（別段面積）の決定について、議案のとおり承認することに可決いたします。
次に、報告事項に入らせていただきます。
報告第1号 専決について。
事務局より説明をお願いいたします。次回の予定についても、一緒をお願いいたします。

事務局　報告第1号 専決処分について。
下記のとおり白井市農業委員会事務局規定第6条第6号の規定により専決処分したので、これを報告いたします。平成29年4月21日提出。
白井市農業委員会会長、武藤栄子。
1枚めくっていただきまして、専決処分書、次のとおり専決処分する。
白井市農業委員会事務局長、湯浅章吾。
①で、農地法第3条の3第1項の規定による届出。
1-1と1-2です。谷田字大境22番、外18筆。
地目は田と畑です。
合計面積が1万4,366平方メートル。
届出者、東京都小平市花小金井　　番、〇〇〇〇さん。
届出事由が相続です。
2番、清戸字大崎222番、外19筆。
地目は田と畑です。
合計面積が2万4,820平方メートル。
届出者、白井市清戸　　番地、〇〇〇〇さん。
届出事由が相続です。
3-1と3-2です。名内字塚田122番、外30筆。
地目は田と畑です。
合計面積が2万4,735平方メートル。
届出者、白井市今井　　番地、〇〇〇〇さん。
届出事由が相続です。
続きまして、②番。
農地法第5条第1項第6号の規定による農地転用届出。
1番、根字大山1964番26。

地目、現況で畑。

合計面積が172平方メートル。

権利者が市川市稲越町 番地、〇〇〇〇さん。

これは公売のため単独申請です。

申請事由、所有権移転。住宅用地です。

③農地法第5条第1項第5号の規定による届出。

工事名、千葉北部地区神崎川橋梁整備その他工事。これは七次橋のところでは

申請者、独立行政法人都市再生機構首都圏ニュータウン本部千葉営業部。

1番、根字東向681番1、外3筆。

田んぼと畑です。

合計面積が1,025平方メートル。

権利者が白井市根 番地、〇〇〇〇さん、ほか3名の方です。

届出事、一時使用、公共事業です。

期間が許可日から平成29年12月31日まで。

これは工事の延長になります。

④軽微な農地改良の届出。

1番、名内字下定戸谷80番。

田んぼ。

525平方メートルのうち498.2平方メートル。

土地所有者、白井市名内 番地、〇〇〇〇さん。

申請事由、農地改善のため。

続きまして、報告第2号 農地法第18条第6項の規定による通知について。

下記のとおり、農地法第18条第6項の規定による通知がありましたので報告いたします。平成29年4月21日提出。

白井市農業委員会、武藤栄子。

1番、十余一字清戸道西43番14。

地目は畑です。

合計面積が2,505平方メートル。

賃借人、白井市十余一 番地、〇〇〇〇さん。

賃貸人、白井市十余一 番地、〇〇〇〇さん。

申請事由が合意解約です。

2番、中字中谷292番4、外9筆。

地目は田と畑です。

合計面積が2万562平方メートル。

賃借人、白井市中 番地、〇〇〇〇さん。

賃貸人、白井市中 番地、〇〇〇〇さん。

申請事由が合意解約です。

続きまして、5月の事前審査会と総会の日程を報告します。

まず、申請受付締め切りが4月24日、月曜日。

事前審査会、案ですけれども、5月1日、月曜日。

今回第2班ですね。9時から4階第1会議室を予定しています。

あと、総会案。5月8日、金曜日じゃなくて月曜日に訂正をお願いいたします。

時間が午後4時から。新庁舎の3階第5会議室で予定しておりますので、間違えないようにお願いします。

以上です。

武藤会長 いいですか。何かほかにございますか。

それでは、本日の会議を終わらせていただきます。

長時間に渡りまして、慎重なる審議ありがとうございました。

委員会会議の顛末を記録し署名捺印する。

白井市農業委員会会長 武藤栄子

白井市農業委員会議事録署名人 押田勝巳

白井市農業委員会議事録署名人 鈴木正夫